



物語やファンタジーを探しています。中三の弟が三日に一度、おもしろい本がなければ聞きに来るのですが、自分が読んだ本はあらかじめ教えてしまいました。彼は冒険ものや、動物がでてくる話が好きなようです。今まで、「ナルニア」「ハリポタ」「アーサー・ランサム」「シートン動物記」「アラルエン戦記」あたりを読んでいます。思い出の本がある方、よろしくお願いします。

昔読んだ本からいくつか

- ①S.R.トルキン『指輪物語』
 - ②ライマン・フランク・ボーム『オズの魔法使い』
 - ③佐藤さとる『だれも知らない小さな国—コロブツク物語1』
- ①②③ともシリーズもので、②のオズシリーズは続編が14くらいありました。KY

『ローワン』シリーズはいかがでしょうか。エミリー・ロッド作で主人公であるローワンと旅をする感覚が味わえるすてきな作品です。『ネシャン・サーガ・シリーズ』も話が込み入ってはいますがとても面白いです。

『泣いた赤鬼』
久しぶりによんでみたら泣いた

『はてしない物語』や『モモ』が有名なミヒヤエル・エンデの作品のうち、『ジムボタンの冒険』はアトラクション(?)めいてオススメです。あとロアルド・ダール。『チョコレート工場の秘密』や『マチルダ』『魔女がいっぱい』どの作品もスパイスが効いてキャラクターが魅力的、映像とはまた違う面白さがあります。

『ドラゴンラージャ』
12巻とやや多めですが、弟さんが満足されること間違い無しです！

『パーティミアス』おすすめです。舞台はイギリス。見習い魔法使いのナサニエルがパーティミアスという妖霊を呼び出し、魔法界の秘密や政治に関わっていく3部作です。

たつみや章は動物(の神の姿)を書いた本が多いが、なかでも『月光の統べる森で』から始まるシリーズがおすすめ。下手に説明するとこの清冽、清光な空気を壊しかねないのでやめておく。表紙のリアルなのにビックリしてはもったいない(私はしたけど)。ぜひ本を開いてほしい。

上橋菜穂子著の「守り人」シリーズはいかがでしょうか。新潮文庫で全館所蔵しています。チャグムの成長とバルサの活躍！NHKでドラマ化もされています。その他にも上橋菜穂子さんはおすすめです。『鹿の王』上・下も揃っています。ぜひ読んでみてください。K・T

『ローワン』シリーズ作者エミリー・ロッド彼女の『デルトラ・クエスト』シリーズもオススメです。鍛冶屋の息子リーフが、悪に染められた国を救うため冒険の旅に出るお話です。物語のキモは何度も訪れる「大どんでん返し」！ページをめくる手が止まらないシリーズです。他、外国文学ですが『宝島』『ハックルベリーフィンの冒険』『タイムマシン』は中学三年生でも楽しめるかと！単巻です。(あと動物は出てきませんが『穴』『三銃士』もオススメです。どれも外国文学です) byヒスイ

2016年だっけ

そう、12月8日

